



# くすの木

都城市立志和池小学校

学校だより

令和3年度 10月号(10月29日)

校長 川越 広幸

## ■通常の教育活動へ■

国や県の新型コロナウイルス感染者が少なくなっている状況です。学校では、健康観察や感染防止対策を行いながら、通常に近い教育活動ができ、大変うれしく思っています。10月は外部講師を招いての授業や遠足などを実施しました。

### 【食育の学習】



4年生において、山田小の黒木先生（栄養教諭）とのティーム・ティーチングを行いました。栄養のバランスなどについて専門的に学びました。

### 【家庭科】



5・6年生の家庭科で、地域ボランティアの方にミシンの使い方などを指導していただきました。

### 【福祉の学習】



3年生において、都城市社会福祉協議会の方にお越しいただき、福祉の学習をしました。身の回りのユニバーサル商品などについて学びました。

### 【いのちの教育】



1、2年生において、県動物愛護センターの方に「いのちの教育」を実施していただきました。自分の胸に聴診器を当てて心臓の音を聞いたり、動物愛護について考えたりしました。

### 【鑑賞教室】



全校児童が、津軽三味線とパーカッションによる素晴らしい生演奏を鑑賞しました。

### 【秋の遠足】



1年生から4年生まで、遠足に行きました。社会見学をして学んだり、おいしいお弁当を食べたりしました。

10月26日に学校運営協議会を開催し、授業参観をしていただきました。委員の皆様からは、次のようなご意見・ご感想がありました。

○どの学級も児童の学習態度が大変良く、集中して授業に臨んでいた。また、板書が大変整えられており、見やすい構造となっており、感心させられた。

○大型モニターを使用した提示だけでなく、教室の側面を使った掲示物利用もあり、様々な資料を活用されていた。

○タブレットを活用した授業が展開されていて、その活用法をさらに知りたいと感じた。